



- 01 みこしを横に回転させる小田青年会の裸みこしは迫力満点  
 02 音楽パレードに参加した猪苗代小学校の児童  
 03 猪苗代中学校サッカー部の創作みこし。今年は野球部も参加しました  
 04 稚児として行列に参加した古川菜月さん(6歳)  
 05 巫女を務めた猪苗代中学校の女子生徒4人  
 06 雨の中、太鼓の演奏に聞き入るお客さんのためにも頑張ります。福島県ばんだい荘あおば太鼓の会  
 07 今回がお披露目の「猪君」。猪苗代湖に生えているヨシを使い作製されました。五穀豊穡と猪苗代湖の水質日本一復活への祈りを込めて、猪苗代保育所の子どもたちと地域活動支援センターのメンバーがロープを引きました  
 08 おまつり広場で人気を集めたミニSL  
 09 町内を幻想的な光で包んだたいまつ行列

「祈り」と「感謝」



第61回  
磐梯まつり



猪苗代の夏を鮮やかに彩る第六十一回磐梯まつりは七月二十五、二十六の両日、旧役場跡地・おまつり広場をメイン会場に実施されました。今年のテーマは「火に託す二つの心『祈り』と『感謝』」。

二十五日には、「音楽パレード」や「山車とみこしの競演」、「火の祭典」などが実施され、多くの町民が参加して祭りを盛り上げました。約千人が参加した「火の祭典」では、磐梯神社から運んだ御神火を移したたいまつ行列が中央商店街を練り歩き、町内を赤く染め上げました。

二十六日には、ミニSLの運行や太鼓の競演などが催され、会場に訪れた人々を喜ばせました。悪天候のため、会津磐梯山総おどりは中止となりましたが、そのほかのイベントを写真で紹介します。





# 翁島小学校特設自転車クラブが 子供自転車県大会で三連覇 全国大会でも上位を狙う

第四十三回交通安全全子供自転車県大会は七月四日、福島市で開催され、本町の翁島小学校特設自転車クラブが団体の部で見事優勝、全国大会への切符を手に入れました。同クラブは、これで県大会三連覇、三年連続の全国大会出場となりました。

個人の部でも、六年生の古川有李紗さんが優勝、川井彩乃さんが準優勝と、圧倒的な強さを見せ、完全勝利と言っても過言ではない内容でした。同クラブの顧問で、六年生の担任でもある原祐司教諭は「子どもたちの頑張りによることは当たり前ですが、校長先生を始めとした学校ぐるみの応援や教頭先生の指導、そして何より地域の皆さんの応援によるところが大きいと思います。」

交通安全協会翁島分会の皆さんは、忙しい中、仕事の合間を縫って指導に来てくださいます。指導だけではなく、自転車の調整などもしていただきました。こうした地域の

皆さんの協力があった結果だと思えます。

子どもたちも全国という舞台では緊張すると思いますが、休みの日や放課後など、練習を重ねてきた成果を発揮できるように、楽しみながら、平常心で大会に臨んでほしいと思います。少人数の学校でも全国で戦えるというところを見せたいですね」と、抱負を述べました。

主将の川井彩乃さんは、「学科も実技も満点、チームとしては四千八百点満点中四千七百点以上と優勝を目指して頑張りたいです。応援してくださった地域の皆さんのためにも頑張ります」とさらなる躍進を誓いました。

全国大会は八月六日、東京都で開催されます。この広報が皆さんのお手もとに届いたころには結果も出ていますが、子どもたちは、きつと全力を尽くして頑張ってくれたことでしょう。



「発進」元気のいい合図とともに走り出します。



01 「来年はわたしたちも」先輩たちの練習を真剣なまなざしで見つめる4年生

02 チーム一丸で頑張るぞ右端が原先生



110センチの間隔をすり抜けるスラローム  
高い技術が要求されます

## INTERVIEW

福島で一番強い5人を紹介（名前の横の数字は大会での発走順序）



補 鈴木麻美さん  
Mami Suzuki (6年)

私は補欠なので、みんなが実力を出せるように応援やサポートを頑張りたいです。



4 大竹友貴さん  
Yuki Otake (6年)

団体では4,700点以上を目指して頑張ります。実技を頑張って最後をビシッと締めたいです。



3 田村美穂さん  
Miho Tamura (5年)

学科でも高い点数が取れるように頑張りたいです。実技も満点を目指して頑張ります。



2 川井彩乃さん  
Ayano Kawai (6年)

これが最後の大会なので、実力を出し切って、みんなで楽しく競技をしたいです。



1 古川有李紗さん  
Arisa Furukawa (6年)

団体でも4,700点以上を、個人でも入賞を目指します。落ち着いて頑張りたいです。





- 01 ポンプ操法は選手だけではできない。  
ほかの団員の応援や協力があってこそ可能になる
- 02 筒先では放水に備えて余裕ホースを取る
- 03 第1線の延長が終わると、第2線の延長に備えて息を整える
- 04 開会式の様子。遠くからでも選手たちの緊張感が伝わってくる
- 05 3番員、4番員による吸管投入操作
- 06 「収め」の号令がかかると、息を合わせて後片づけ。筒先を背負いポンプ車へ戻る
- 07 猪苗代支部大会では第六分団と同点だった第二分団。第六分団の会津大会優勝により、会津大会でも活躍できる力があることが証明された



「小型ポンプ操法の部」  
①第六分団②第二分団③磐梯町消防団第一分団  
最優秀選手▼指揮者Ⅱ渡部雅史(第二分団)▼一番員Ⅱ鈴木孝紀(磐梯町消防団第一分団)▼二番員Ⅱ加藤聖大(第二分団)▼三番員Ⅱ渡部翔太(第六分団)

福島県会津地方消防操法大会は八月二日、会津美里町の消防操法訓練場で開催され、小型ポンプの部で第六分団が優勝。ポンプ車操法の部で第五分団が四位でした。

大会の様子を写真でお知らせします。



順位は次の通りです。  
「ポンプ車操法の部」  
①第五分団②磐梯町消防団第一分団③第四分団  
最優秀選手▼指揮者Ⅱ佐藤広幸(第五分団)▼一番員Ⅱ鈴木啓太(磐梯町消防団第一分団)▼二番員Ⅱ五十嵐史朗(第五分団)▼三番員Ⅱ遠藤義徳(同)▼四番員Ⅱ佐藤優樹(同)

大会には同支部に所属する猪苗代、磐梯両町の消防団が出場し、消防ポンプの操作の正確さや放水までのスピードなどを競い合いました。

勝しました。

大会には同支部に所属する猪苗代、磐梯両町の消防団が出場し、消防ポンプの操作の正確さや放水までのスピードなどを競い合いました。

## 猪苗代支部消防操法大会 & 会津地方消防操法大会

